
少年少女発明クラブ

〈畑中公民館〉

○開設の趣旨 昭和63年に発明協会の承認を得て発足した新座市少年少女発明クラブの会員による年間を通じての活動日で、内容は科学的な興味と関心を探求できる工作活動を主に毎月1回、テーマを決めて実施した。

○期間 平成30年4月7日～平成31年3月2日 各土曜日（計14回）
（計29時間）

○対象・定員 市内在住の小学生・16人

○参加者 16人 参加延べ人数 174人

○講師 発明クラブ指導員 横山 仁 外6人

○事業内容

回	月 日	時 間	内 容
1	4月 7日(土)	午前10時～正午	開講式・オリエンテーション
2	5月12日(土)	午前10時～正午	紙を使った工作
3	6月 9日(土)	午前10時～正午	プラスチックを使ったペン立て作り
4	6月23日(土)	午前10時～正午	木工作（道具の使い方）
5	7月 7日(土)	午前10時～正午	ペットボトル風車作り
6	7月21日(土)	午前10時～正午	ペットボトルロケット
7	8月 4日(土)	午前10時～正午	モーターを使った工作
8	9月 8日(土)	午前10時～正午	LED工作
9	10月13日(土)	午前10時～正午	ストローヘリコプター作り
10	11月10日(土)	午前10時～正午	木工作Ⅱペン立てづくり
		午後 2時～4時	ペットボトルロケット実射
11	12月15日(土)	午前10時～正午	クリスマスケーキ作り
12	1月12日(土)	午前10時～正午	電気パーツを使い、作品を作る
13	2月 9日(土)	午前10時～正午	パソコン講座アルゴリズム入門
14	3月 2日(土)	午前10時～11時	閉講式

○ま と め

4月の開講から3月の閉講まで全14回にわたり、毎月1回のペースで毎回異なるテーマで講座を実施した。カッターを使った紙細工に始まり、のこぎり、かなづち、ドリル等を使った木工作、ペットボトルを使った風車、ロケット及びヘリコプターの作品作り、またモーターを使った動く工作物の製作、LEDを使った工作を行った。様々な工作物の製作を通じてその難しさや原理原則を学ぶとともに、創造性の向上に資することができたのではないかと。

絵本とおはなしクラブ

〈畑中公民館〉

- 開設の趣旨 幼児や小学生を対象に季節に合わせた読み聞かせや紙芝居、手遊びを行い、読書の楽しさを伝える。
- 期間 ①平成30年6月30日②12月8日の土曜日 (計2回)
- 時間 ①午前10時～11時30分②午前10時～11時 (計2.5時間)
- 対象・定員 市内在住の幼児から小学生までの子どもと保護者・20人
- 参加者 7人
- 講師 読み聞かせボランティアグループ絵本の会「四季」
- 事業内容

回	月日	内容
1	6月30日(土)	○おはなし会と七夕かざり作り 大型紙芝居「おだんごころころ」大型絵本「たなばたバス」「おばけびょうきになる」「ちいさなきいろいかさ」、紙芝居「くじらやま」歌、手遊び、七夕の笹飾り作り
2	12月8日(土)	○クリスマスのおはなし会 大型紙芝居「おおきくおおきくおおきくなーれ」、大型絵本「バスでおでかけ」「パパお月さまとって」 クリスマスソング、折紙でリース作り

○まとめ

今年度も昨年同様2回講座を開催した。2回とも絵本の会「四季」に単独で講師を依頼した。

1回目は事前申込みの2組7人が参加した。前半読み聞かせ、後半笹飾り作りだったが、笹飾り作りに時間がかかり20分延長した。飾りを「四季」の皆さんがあらかじめたくさん作ってきてくれて、おみやげに持ち帰ってもらった。館で用意した笹に飾り付け、皆さん喜んで持ち帰った。

2回目は事前申込み1組2人だったが、当日お子さんが風邪のためキャンセルとなり、参加者無しとなってしまった。館の職員等大人3人が便宜で参加し、予定通り読み聞かせを行ってもらった。

参加者を増やす工夫がおおいに必要とされる。



夏休み子ども講座～自分だけの探検バッグ作り～

〈畑中公民館〉

- 開設の趣旨 市販品に一手間かけて自分だけのバッグを作り使う楽しさを味わう。
- 期 間 平成30年7月31日（火）
- 時 間 午前10時～正午（計2時間）
- 対象・定員 市内在住の小学1年～6年生・20人
- 参加者 17人
- 講師 アート・エドゥケーター 菖蒲澤 侑
- 参加費 300円（材料費）
- 事業内容 市販のコットンバッグにスタンプ等で飾り付けをし、自分だけのオリジナルバッグを作る。

○ま と め

19人の申込みがあったが、キャンセルが2人出て17人で実施した。

使用したコットンバッグはショルダータイプのを講師がネットで見つけ準備してくれた。布用のスタンプインクとクレヨン、いろいろな種類のスタンプも用意してきてくれた。

まず、講師が描いた図柄が何をイメージしたものか考えさせた。次に、自分がそのバッグに入りたい物を決めさせ、その物をイメージした図案を紙に表現していった。なかなか考えの浮かばない子も、実際にスタンプを押していくうちに、リラックスして考えが浮かび始めたようだった。そして、いよいよ袋に図案を描いていった。各自のアイデアを自分の思うままに表現していったので、他の子を気にすることなく楽しく自分の思いを表現していた。アイロンでインクを定着させ、その後、ビーズやワッペンなど自分で持ってきた材料を飾り付ける子もいた。

一人一人が自分の思いを表現したので、他の子と出来栄えを比べることもなく、学年の差も気にならず、「自分だけの」探検バッグの仕上がりに満足した様子だった。講師も一人一人の個性豊かなバッグができてよかったと満足していた。



大人の電気工作～フルカラーLEDを光らせる～

〈畑中公民館〉

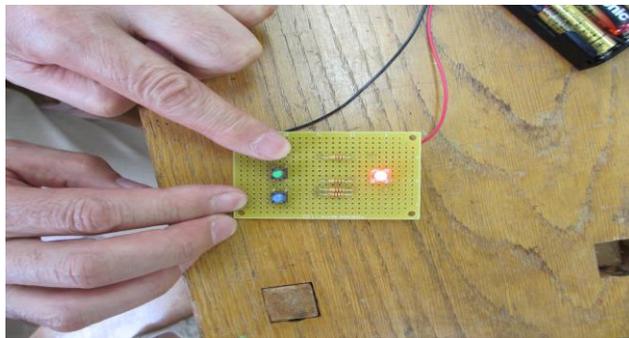
- 開設の趣旨 大人もLEDを使った電気工作を楽しむ。
- 期 間 平成30年5月19日（土）
- 時 間 午前10時～正午（計2時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の高校生以上の方・16人
- 参加者 9人
- 参加費 500円（材料費）
- 講師 越谷総合技術高校教諭 横田 一弘
- 事業内容 フルカラーLEDを使って簡単な光の実験装置を製作する。
- まとめ

赤（R）、緑（G）、青（B）の光の三原色にあたるLEDがパッケージ化されたフルカラーLEDを基盤に取付けて光の実験装置を製作した。

フルカラーLED、抵抗及びタクトスイッチをユニバーサル基盤に取付け、裏側で回路図に基づきハンダ付けをし、最後に電池ボックスにハンダ付けをして完成する。各々のスイッチでそれぞれの色が発色し同時にスイッチを押すことで複合した色が発色し、3つのスイッチを同時に押すことで白色に発色するものである。

受講者たちは、ピンを折り曲げたり裁断したり、またハンダ付け等の細かな作業に手間取りながらも全員時間内に完成した。

受講者から青色スイッチの配線図ではなぜ抵抗が2つなのか、電圧、電流を上げた場合の変化の仕方等々の質問がなされた。人数は少なかったが電気工作が好きな方は有意義な時間だったと思われる。今後も、工具を使った講座を考えていきたい。



老いの生き方

～貝原益軒の「老いの道」を学ぶ～

〈畑中公民館〉

- 開設の趣旨 本草学者・儒学者の貝原益軒の生き方を考察する。
- 期間 平成30年6月1日～6月29日までの毎週金曜日（計5回）
- 時間 午前10時～正午（計10時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・50人
- 参加者 42人 参加延べ人数192人
- 講師 元玉川学園女子短期大学教授 小澤 富夫
- 事業内容

回	月 日	内 容
1	6月 1日（金）	「老いの生き方」を自分で考えよう
2	6月 8日（金）	「老いの細道」と「仏と神」を考える
3	6月15日（金）	貝原益軒「養生訓」総論の構成
4	6月22日（金）	貝原益軒の「養生訓」を学ぶ
5	6月29日（金）	

○ま と め

今回の講座では全5回で実施し、自分の生き方、老いの道といった現実的な問題を、江戸時代の「老いの生き方（貝原益軒）」を参考にして、現実の我々の「老いの道」を主題に講義が進められた。

実際のレジュメは貝原益軒の「養生訓」から、現代にあったものをピックアップして作られており、分かり易い内容だった。

小澤講師の講座は本市他公民館でも実施していることから、リピーターが多数いた。そのため和やかな雰囲気の中講座が展開され、次回も同講師の講義を聞きたいという声が多数聞かれた。

歴史講座～応仁の乱とその後の乱世を学ぶ～

〈畑中公民館〉

- 開設の趣旨 日本歴史や文化を学び、理解を深める。
- 期間 平成30年11月24日～12月15日までの毎週土曜日（計4回）
- 時間 午後1時30分～午後3時30分（計8時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・50人
- 参加者 47人 参加延べ人数152人
- 講師 国文学研究者 棚木 恵子
- 事業内容

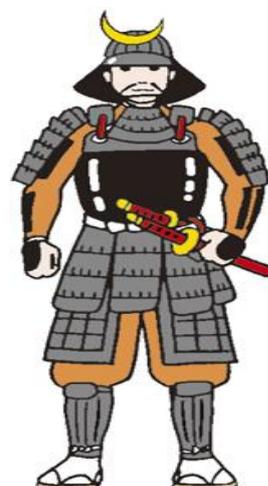
回	月 日	内 容
1	11月24日（土）	室町時代約11年間にわたって続いた内乱に関わった人物を追う。そして、その後の乱世についても学ぶ。
2	12月 1日（土）	
3	12月 8日（土）	
4	12月15日（土）	

○ま と め

今年度も定員以上の申込みがあったが、終わってみると1回も参加していない方が8人もいた。キャンセル待ちの方もいたので残念である。

歴史に興味を持つ男性受講生の割合が、やはり他の講座に比べて高かった。公民館の利用者は女性が多いので、これからも多数参加してもらえるような講座を考えていきたい。

講義は、足利氏略系図等を中心に人物についての詳しい解説があったが、その後の乱世までは4回で終わらず、次年度も継続して開催することとなった。受講生はとても楽しみにしているようだった。



蕎麦打ち講座 ～新そばを打って、旬を味わう～

〈畑中公民館〉

- 開設の趣旨 新そば粉収穫時期に合わせたそば打ちの体験を通し、地域住民の交流と畑中公民館サークルの育成を図る。
- 期間 平成30年10月20日(土)
- 時間 午後1時～3時30分 (計2.5時間)
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・15人
- 参加者 15人
- 講師 新座手打ち蕎麦同趣会
- 参加費 実習材料費 1,000円
- 事業内容 講師陣によるデモンストレーションの後に実習を行い、試食する。
- まとめ

毎年恒例となっている公民館サークルの方が講師となって行うそば打ち講座である。今年で11回目となった。午前中にサークルの方で、お土産用のそば打ち等準備をしてくれた。3人ずつ5グループを作り、各グループに講師1人がつき、丁寧に分かり易く指導した。講師は手慣れているので時間も予定通りで、参加者も大いに満足できたようだった。蕎麦のお土産付きで、それにも大喜びだった。

広報9月号に掲載し9月4日から受付を開始したが、10月募集開始でも良かったかもしれない。キャンセルが4人だったがキャンセル待ちの方に参加してもらった。キャンセル待ち枠5人ぐらいは確保が必要である。



すくすく学級¹

簡単なおもちゃ作りと子育ての話

〈畑中公民館〉

- 開設の趣旨 2歳から就学前の幼児と保護者を対象に子育てについて多方面から学ぶとともに仲間作りを目指す。
- 期間 平成30年6月6日(水)
- 時間 午前10時～正午(計2時間)
- 対象・定員 市内在住の2歳から就学前の幼児と保護者(保護者のみの参加可)・15組
- 参加者 2組4人
- 保育 2人
- 講師 薬剤師 淡路 庸子
- 事業内容 幼児の喜びそうな簡単なおもちゃを手作りし、薬の飲ませ方や健康管理等子育てで困っていることなどを話し合う。
- まとめ

今年度は例年の「すくすく学級」とは次の2点を大きく変更した。

- ①日程・・・連続講座ではなく月1回で6月以降の開催とする。
- ②対象・・・「2、3歳児と保護者」を「2歳から就学前の幼児と保護者(保護者のみの参加可)」に変更。

とにかく応募がなく結局2組で開催となり、保育サポーターを2人にした。

牛乳パックで簡単にできるおもちゃを作りながら、ざっくばらんな交流ができた。幼稚園や学校のPTA委員の話、地域の図書館の情報、学校のプールの授業の話、薬の塗り方や、現在流行している溶連菌性咽頭炎についての情報など講師の薬剤師という立場からのアドバイスももらえて、充実した内容だった。資料として、薬や主な感染症に関わる情報を講師からいただいた。

手作業をしながら、それぞれの気になっていることが話題となり、情報交換の場になった。2人とも「とてもよかった」と満足した様子だった。

なお、おもちゃはトイレットペーパーの芯を使った物も作った。

保育講座のあり方は今後も見直していきたい。

すくすく学級²

ソフトエアロビクス&ストレッチ

〈畑中公民館〉

- 開設の趣旨 2歳から就学前の幼児と保護者を対象に子育てについて多方面から学ぶとともに仲間作りを目指す。
- 期間 平成30年10月10日(水)
- 時間 午前10時～11時30分(計1.5時間)
- 対象・定員 市内在住の2歳から就学前の幼児と保護者(保護者のみの参加可)・15組
- 参加者 11組23人
- 保育 12人
- 講師 エアロビクス・インストラクター 佐藤 由利香
- 事業内容 簡単なエアロビクスとストレッチを体験する。
- まとめ

13組27人の申込みがあったが、当日キャンセルがあり、11組23人の参加となった。保護者のみの参加は1人だった。

始めに「エアロビクス」について簡単な説明があり、その後準備運動を開始した。初めてエアロビクスを体験する方が多かったので、講師もそのことを配慮して進めてくれた。音楽に合わせて皆さん無心でステップを踏んでいた。曲の合間で水分補給を促したり体調を確認したりと、講師による安全面での配慮も怠りなく有り難かった。

最後にストレッチを行った。日常的な肩こりや腰痛に効果的なストレッチを教えてもらい、皆さん充実した時間となったようだった。



すくすく学級³

野菜たっぷり幼児食作り～冷凍術を生かして～

〈畑中公民館〉

- 開設の趣旨 2歳から就学前の幼児と保護者を対象に子育てについて多方面から学ぶとともに仲間作りを目指す。
- 期間 平成30年10月30日（火）
- 時間 午前10時～正午（計2時間）
- 対象・定員 市内在住の2歳から就学前の幼児と保護者（保護者のみの参加可）・16組
- 参加者 16組33人
- 保育 17人
- 講師 野菜ソムリエプロ 増田 純代
- 参加費 1人500円（材料費）
- 事業内容 冷凍かぼちゃ、冷凍豆腐を基本とした料理を作る。
（かぼちゃのスープ、コロケ、皮のスティックフライ、サブレ、豆腐ステーキ）
- まとめ

参加希望者が徐々に増えて15組31人になった時点で保育サポーターを1人追加した。最終的には16組33人で全員参加だった。

講座の最初に、資料に基づき幼児食についての説明があった。

次に、講師のデモンストレーションをみてからグループで調理にとりかかった。冷凍術の活用について随時質問を受けながら作業を進めた。

試食、片付けも含めて2時間以内でとお願いしてあったので、量的には少なめだったが、調理実習中、試食中と、幼児食や冷凍法についてたくさんの質問に答えてもらったので参加者も満足した様子だった。

アンケートによると、受講の動機として多かったのは、幼児食作りに困っていた、自分だけの時間が持てる、子どもに保育を体験させたい等だった。

保育付き講座の内容として、「幼児食作り」が有効だった。



「今昔物語集」を読む～仏教説話にふれる～

〈畑中公民館〉

- 開設の趣旨 平安時代後期の書「今昔物語集」を読み、先人の思想を学び、現代社会にどう活かすかを考察する。
- 期間 平成30年11月6日～27日までの毎週火曜日（計4回）
- 時間 午前10時～正午（計8時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・50人
- 参加者 45人 参加延べ人数176人
- 講師 学習院大学講師 林 東洋
- 事業内容

回	月 日	内 容
1	11月 6日（火）	平安時代後期の書「今昔物語集」の中から4回に渡り深く読み込み、文脈の解説と解釈、その考察を行う。
2	11月13日（火）	
3	11月20日（火）	
4	11月27日（火）	

○ま と め

平安時代後期の書「今昔物語集」について、講師が用意した古文書にて解説してくれた。昨年は「易経」を読むで、かなり難度の高い文献であったが、今年は読み易く内容も理解し易いようだった。

「今昔物語集」は全部で1000話以上ある説話であり、来年度も引き続き開催を検討することになった。

歌舞伎講座

～そこが知りたい！歌舞伎の魅力～

〈畑中公民館〉

- 開設の趣旨 歌舞伎の歴史や特色、芝居見物の楽しみ方を学ぶ。
- 期間 平成31年1月29日～2月12日までの毎週火曜日（計3回）
- 時間 午前10時～正午（計6時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・50人
- 参加者 30人 参加延べ人数 80人
- 講師 清泉女子大学講師 武藤 純子
- 事業内容

回	月 日	内 容
1	1月29日（火）	歌舞伎と能・狂言・文楽
2	2月 5日（火）	歌舞伎座案内～正月・二月歌舞伎を例にして～
3	2月12日（火）	歌舞伎400年の歴史と代表作品

○ま と め

始めに歌舞伎の舞台について、定式幕・チョボ床・黒御簾・廻り舞台・せり・花道・すっぽんの説明があり、その後は内容に入っていた。

講座は、毎年全3回行っているが、前半は講義をし、後半では解説のあった作品を放映し、詳細な解説を交えるという手法で講座が展開された。

今回初めての受講生もこうした話を通し、深く芝居に興味を持ったようだ。



アートに親しむ2日間～近現代美術入門～

〈畑中公民館〉

- 開設の趣旨 近代美術を中心に歴史を交え、絵画を楽しむコツを紹介する。
- 期 間 平成31年1月24日・31日の木曜日（計2回）
- 時 間 午前10時～正午（計4時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・30人
- 参加者 13人 参加延べ人数 24人
- 参加費 200円（入館料）
- 講師 埼玉県立近代美術館 喜多 春月
- 事業内容

回	月 日	内 容	場 所
1	1月24日（木）	美術史入門	畑中公民館
2	1月31日（木）	美術鑑賞入門	埼玉県立近代美術館

○ま と め

1回目は、「画家を通して見た絵画を楽しむ」という観点で学習した。次回鑑賞のポイントとして色・形・主題・筆使い・技法・画家・歴史などを意識しながら見る。額縁も価値あるものなので目を止めてほしいとあった。

2回目は、埼玉県立近代美術館に集合し、会議室で鑑賞のポイントのおさらいから入り、美術館の紹介、展示空間（個性のない造り）などの説明があり、その後絵画鑑賞をした。

今回メインの特別展示「瑛久の部屋（田園）」は、小さな部屋を暗室に見立て、田園だけを展示している。個々に田園を照らす光の明るさを調整し、自分にあつた見方で鑑賞した。講義の最後に感想を共有しあつたが、さまざまな感想があり、他者の視点を知ることでもでき、作品への理解もさらに深まった。

絵画鑑賞講座は毎年、たくさんの応募をいただいております。今年は実際に美術館へ足を運ぶ講座にしたが思ったより集まらなかった。今後どのように講座設定をするか思案するところである。

おせち料理講座

～元気になるヘルシーおせち作り～

〈畑中公民館〉

- 開設の趣旨 お正月を前に健康を意識したおせち作りを学ぶ。
- 期 間 平成30年12月13日(木)
- 時 間 午前10時～午後1時(計3時間)
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・16人
- 参加者 16人
- 保育 2人
- 講師 管理栄養士 鳴嶋 廣美
- 参加費 実習材料費 1,000円
- 事業内容

- ・砂糖不使用の洋風きんとん(バター入り。茶巾に絞って仕上げる。)
- ・ごま風味の炒めなます(炒めることで酸味がまろやかになる。)
- ・スパイシーナッツ入り田作り(いりことナッツの組み合わせでミネラルたっぷり。スパイスが入ることで減塩効果あり。おつまみにもなる。)
- ・スモークサーモンの奉書巻き(薄切りの大根にサーモンを巻き込んだおもてなしになる一品。)
- ・紅白かん(赤ワインとミルクをそれぞれ寒天で固めて型で抜く。)

○まとめ

申込順と思って申込みに来館した人がいたが、抽選ということを知り受け付けた。抽選は、抽選後の連絡に手間はかかるが公平感があり申込時の慌ただしさも軽減される。保育希望は2人だった。メニューは予定通りの5品に、講師がお雑煮を加えてくれたので皆さん満腹になって帰った。メニューについての説明の中で、材料や調味料の効能や選び方などについても教えてくれたので皆さん聴き入っていた。4人グループで調理したが、手際良く調理から片付けまで協力して行った。家庭でも是非作ってみたいという感想が多く寄せられ、皆さん満足された内容の講座だった。



紙バンドのかごバッグ作り

～手作りのかごバッグを持ってお出かけしませんか～

〈畑中公民館〉

- 開設の趣旨 紙バンドで実用的な、かごバッグを手作りして楽しむ。
- 期間 平成30年5月16日～30日までの毎週水曜日（計3回）
- 時間 午前10時～正午（計6時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・20人
- 参加者 20人 参加延べ人数58人
- 参加費 1,300円（材料費）
- 保育 2人
- 講師 クラフトバンド認定講師 奥村 ひろ美
- 事業内容 紙バンドのかごバッグ1個を3日間で作る。
- まとめ

受講希望者が多く、募集開始後まもなく定員となった。保育は2人だった。

講師が材料を切りそろえてきてくれたので、スムーズなスタートとなった。

集中してもくもくと作業したり、講師の声かけで楽しく談笑したりと、充実した時間を共有できたようだ。1回目と3回目はアシスタント2人も丁寧に指導してくれたので、質問しても待つ時間が少なくすんだ。また、講師が毎回違った作品を見せてくれたので皆さん興味が倍増したようだった。バッグにつけるいちごのストラップを作りたいとの強い要望があり、講師にお願いして3回目の後半の時間に取り組んだ。時間内に出来上がるよう講師が準備してきてくれたので、完成できて皆さん大喜びだった。材料費は、100円別途集金した。

3回の計画で取り組んだが、無理なく余裕をもって仕上げる事が出来、良かったと思う。「達成感があった」という感想があったが、作品を完成させる喜びを感じてもらえて良かった。



中国の歴史を知ろう～上海と日本～

〈畑中公民館〉

- 開設の趣旨 江戸時代の鎖国体制時と開国後の上海と長崎の関係から、中国の歴史を読み解く。
- 期間 平成31年2月6日・13日の水曜日（計2回）
- 時間 午前10時～正午（計4時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・50人
- 参加者 48人 参加延べ人数79人
- 講師 元明治学院大学教授 横山 宏章
- 事業内容 ①初めて上海をみた日本人「高杉晋作」
②上海の日本人街「虹口（ほんきゅう）」
- まとめ

初めての講師だったが、申込みがじわじわと増えて申込数は54人となった。歴史講座への関心の高さを改めて実感した。

1回目は手渡す資料があったが、2回目はなかったので簡単なレジュメがあると、なおよかったと感じた。皆さん大変熱心に受講されていた。

幕末期の頃の上海の様子、その後の上海と日本の関係を中心に上海の歴史についてわかりやすく講義してもらい皆さん満足された講座となった。

来年度も同講師による講座を考えている。



親子パン教室

～生地をこねない混ぜるだけのパン作りにチャレンジ～

〈畑中公民館〉

- 開設の趣旨 パン作りを親子で体験し、手作りの楽しさ、大切さを学ぶとともに、公民館実習室の活用を図る。
- 期 間 平成30年7月14日（土）
- 時 間 午前10時～午後1時（計3時間）
- 対象・定員 市内在住の小学生親子 10組20人（1家族2人）
- 参加者 10組20人
- 参加費 実習材料費 1組1,000円
- 講師 管理栄養士 鳴嶋 廣美
- 事業内容 親子でパンを作って食べる。
- まとめ

申込開始からほどなく定員となった。夏休みの時期に恒例となっている親子講座だが、今年度は親1人子1人の2人1組に限定した。1組の子どもの人数が多いと組数が減るので、なるべく多くの親子に体験してもらうために限定した。実際の活動の様子から1対1で落ち着いて調理に取り組めていたと感じた。低学年の児童が多かったので、じっくり親子で取り組めて良かった。

最初にデザート作り方のデモンストレーションを行った。デザートは冷やし固めるために講師があらかじめ作っておき、トッピングを各自で行った。

次にパン作りを行ったが、全くこねることなく混ぜ合わせるだけで、簡単なおいしいパンが出来た。調理の途中で、小麦粉の薄力粉と強力粉の違いなどの説明をしてくれた。野菜スープや飲み物（麦茶、インスタントコーヒー、紅茶）などを講師が用意してくれたので、素敵なランチタイムとなった。

おいしいパンとデザートが簡単に作れて、家でも早速作ってみたいという感想もあった。夏休み前の企画として、有効なものであったと思う。



人権学習

〈畑中公民館〉

- 開設の趣旨 日常生活における差別や偏見について考え、意識を持っていくことを目的とする。
- 期 間 平成30年11月17日（土）
- 時 間 午前10時30分～11時（計30分）
- 対象・定員 公民館サークルの代表・50人
- 参加者 35人
- 事業内容 利用者懇談会の中で、ビデオ視聴により人権問題について学ぶ。
- ま と め

利用者懇談会の会議終了後に毎年実施しているもので、今年度は、DVD「わっかカフェへようこそ～ココロまじわるヨリドコロ～」を視聴した。

東京下町の路地裏に和カフェがオープンするところから物語は始まる。この作品では「インターネットによる人権侵害～三色団子の向こう側～」「高齢者の人権～世代をつなぐ柏餅～」 「外国人の人権～コンペイトウの来た道～」の三つのエピソードをドラマや解説・インタビューなどで紹介している。この三つのエピソードを通して、自分も相手も大切にすることができる、自分なりの「ココロ・まじわる・ヨリドコロ」をつくりながら、自分には何ができるのかを考えることができたのではないか。

ニューイヤーコンサート ～馬頭琴とピアノのしらべ～

〈畑中公民館〉

- 開設の趣旨 新春の時期にコンサートを開催し、地域の皆さんに楽しんでもらう。
- 期 間 平成31年1月14日(月)
- 時 間 開場午後1時30分 開演午後2時 終演午後3時30分
(計1.5時間)
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・100人
- 参加者 71人
- 演奏者 馬頭琴 堀川 万泰、ピアノ 高橋 恭子
- 事業内容 馬頭琴とピアノの演奏
マンダル・ジョージャー / モンゴル民謡
シレー湖 / D. ジャンチヴ
秋 / N. ジャンツァンノロヴ
心のゴビ / N. ジャンツァンノロヴ
鳥の歌 / カタルーニャ民謡
浜辺の歌 / 成田為三
愛の悲しみ / F. クライスラー
ヴォカリーズ / S. ラフマニノフ
馬頭琴協奏曲 / Z. ハンガル

○ま と め

演奏者の堀川氏となかなか直接の連絡がとれず、電話で母親と連絡することが多かった。

当日配布のプログラムはメールでデータをもらい作成した。参加申込みは、じわじわと増え76人となったが、当日申込み4人、欠席9人で参加者は71人だった。当日は、堀川氏、母親、高橋氏の3人で11時頃来館され、リハーサル及び打ち合わせをした。

家族で来場されていた小学生の兄弟に花束贈呈を事前をお願いしたが、立派に役割を果たしてくれた。

馬頭琴とピアノの音色が響き合い、心に染み入るコンサートとなった。

ちよいそこ学級～片づけから始める生前整理～

〈畑中公民館〉

- 開設の趣旨 高齢者を対象に知識を高め、健康で楽しい生活が送れるよう学習の機会を提供する。
- 期間 平成31年3月13日（水）
- 時間 午後1時30分～3時（計1.5時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の55歳以上の方・50人
- 参加者 32人
- 講師 （一社）実家片づけ整理協会 代表理事 渡部 亜矢
- 事業内容 高齢者でもできる片づけ方、生前整理までのコツを学ぶ。
- まとめ

今までちよいそこ学級は4コマで構成していたが、参加者が年々減少傾向にあり、1コマのみとした。

今回の講師はテレビ、メディア等に多数出演されている方を招いたが、予想を下回る応募だった。

片づけを始めるにあたって、目指すゴールは、安全・安心・健康に暮らせる家であるという。このゴールに向けて、「思い入れの薄いもの、命に近いところ」から進める。

①防災・防犯・避難経路②生活空間③趣味・思い出・重要品の順番からやると良い。仕分けについては、3の法則から成り立つ。㊦いる㊧いない㊨いるかも知れない、この3つである。㊨については、「一時保管箱」を作り、箱に入った状態でしまい一度見えなくする。結局、見えなくなると使わない物になり、後々捨てやすくなるということだ。今まで聞いたことのない、新しいアイデアだなと感心した。

受講生は、講師が用意してくれたレジュメにたくさん書き込む人も多く、片づけの良いアドバイスになったのではないかな。

歴史街歩き～赤坂・六本木の史跡をめぐる～

〈畑中公民館〉

- 開設の趣旨 高齢者を対象に館外で史跡等、解説を受けながら見学する。
- 期 間 平成30年12月4日（火）
- 時 間 午前8時30分～午後3時30分（計7時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の55才以上の方・25人
- 参加者 25人
- 参加費 500円（交通費）
- 講師 学習院大学講師 林 東洋
- 事業内容 公民館から六本木までバスで行き、そこから徒歩でゆかりの地を巡る館外学習。

○ま と め

今回は、市の委託バスで現地まで行き、そこから徒歩で①出雲大社東京分祠②天祖神社③乃木神社④赤坂氷川神社⑤日枝神社⑥豊川稲荷を散策した。坂も多かったが、誰も遅れることなくタイムスケジュール通り全て巡ることができた。解説も分かり易く、受講生は熱心に話を聞いていた。

バスを使用した単発の館外学習は今回初めてだったが、大変応募が多く、定員の3倍位の申込みがあった。次年度は申込みの方法を検討する必要がある。

